柔道

期 日	令和7年9月7日(日)
会 場	鈴鹿市武道館(鈴鹿市江島台二丁目6-1) TEL 059-388-0622
受 付	9:00~
選手変更	9:20~9:30
計 量	9:30~9:40
監督会議	9:40
開 会 式	10:00

大会委員長 小倉 礼

競技役員

委員長 新井 雅美(三重)

副委員長 神谷 幸男(愛知) 西川 武道(静岡) 藤原 厚良(岐阜)

総務委員 安保 欧貴

審判長 清水 雄希

審判員 六藤 匠 林田 直也 大島 祐紀

救 護 江口 雅美

補助員 稲生高等学校

注意

- 1 試合は国際柔道連盟試合審判規定並びに東海高体連定時制通信制柔道専門部審判監督会議申し合わせ事項によって行う。試合時間は4分とする。
- 2 団体戦の勝敗は「有効」又は「僅差」(指導差2)以上とし、指導差1以内の場合は「引き分け」とする。チームの勝敗は、勝ち数、内容などにより決定する。勝ち数、内容などがすべて同じ場合には、代表戦(任意の選手による)を3分間行い、時間内で勝敗が決しない場合には、ゴールデンスコア方式での延長戦(技による差、指導による差が出た時点で終了)を行い、勝敗を決する。
- 3 個人戦の勝敗は「有効」又は「僅差」(指導差2)以上とする。試合終了時点で得点差がない場合若しくは「指導」差が1以下の場合はゴールデンスコア方式にて勝敗を決する。「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式にて必ず勝敗を決する。
- 4 選手変更が必要な場合には、当日の審判・監督会議で申請し、承認する。
- 5 計量を9:30~9:40(時間内であれば再計量は可)、審判・監督会議を9:40から行う。
- 6 競技中に選手が負傷した場合には、応急の処置はするが、その後の責任は負わない。